

介護給付費等準備基金 有効活用すべきでは

効果的な活用を 計画的に行いたい

服部 ひとみ議員 現在、策定が進められている第4期介護保険事業計画では、介護保険料もサービス利用料も上昇する予定であると聞く。

介護給付費等準備基金は、見込みよりサービスが利用されず生じた保険料の剰余金が積みまれていると理解しており、保険料の値上げ等に対して、有効活用すべきものと考えている。そこで、同基金の期末残高及び活用の考えを聞きたい。

福祉保健部長 同基金の第3期末の残高は7億1930万円を見込んでいます。

取崩し額はすべて介護給付費に充当しており、第4期の計画策定の際には、期間中に取崩すことも考えている。これは、保険料の上昇を抑制することとなり、制度を利用しない人にも効果が及ぶものである。また、平成21年度に介護報酬の改定、第5期には更なる制度改定が予定されていることなどから、効果的な活用を計画的に行いたい。

平成20年第4回定例会は

12月1日(月)

午前10時

開会の予定です。

常任委員会からの審査報告

総務委員会

第58号議案

平成19年度府中市競走事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が890億4447万8千円で執行率100.1%、歳出が887億8511万5千円で執行率99.7%となっている。

歳入の主なものは、入場料収入、勝舟投票券発売収入のほか、場外発売事業収入となっている。歳出は、競走開催費や場外発売事業費などで、競走事業運営調整基金への積立金の残高は、40億2600万円となっている。

質疑に対して、「繰出金は18年度が18億円で全国第一位、19年度は12億6千万円で第3位となる見込みである」「ポトピア横浜の周辺対策については、現在も大きな問題はないと認識している」等の答弁があった。

委員から、「繰出金は全国的にも上位に位置することから、その努力を高く評価する」「本場の場外発売日数を拡大できるように、一層の努力を願いたい」「一方、ポトピアの際限のない拡大については予算にも反対であり、本案にも反対する」等の要望・意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり認定すべきものと決定した。

文教委員会

第47号議案

府中市立保育所条例の一部を改正する条例

この議案は、保育所の待機児童の解消を図るため、市立三本木保育所の増築等工事を進めているが、工事の期間中、別の場所に仮園舎を設置し、保育を実施することから、三本木保育所の所在地の変更を行うもの。

主な改正内容は、「三本木保育所の所在地を『府中市府中町3丁目23番地の1』から、仮園舎の設置場所である『府中市新町1丁目64番地の3』に改める」等の説明があった。

質疑に対して、「増築等工事完成後の仮園舎の活用については、現段階では未定だが、待機児童の状況によっては、有効活用を図る必要があると考えている。その場合には、仮設の建物ということや近隣住民のことも含め総合的に検討しなければならない」等の答弁があった。

委員から、「待機児童解消のためにも、仮園舎の活用を十分にお願し、本案に賛成する」との意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生経済委員会

第55号議案

平成19年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が209億1883万5千円で執行率96.4%、歳出が209億1052万6千円で執行率96.3%となっている。

歳入の主なものは、国民健康保険税、国庫負担金、療養給付費等交付金、一般会計繰入金で、保険税収入総額の歳入総額に占める割合は28%、前年度比2.7ポイントの減となっている。歳出の主なものは、保険給付費の療養諸費で、件数、費用ともに増となっている。

質疑に対して、「保険税減免申請の件数は、18年度が12件、19年度が17件だが、1件ごとに基準に照らし合わせ丁寧に対応しており、申請の機会を閉ざしているものではない」「短期被保険者証の発行は、督促、催告などの段階を踏まえた上で行っている」等の答弁があった。

委員から、「被保険者資格証明書の運用に対する十分な留意と保険税減免申請手続きの改善を求め、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定した。

建設環境委員会

第60号議案

平成19年度府中市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が40億8598万9千円で執行率100.1%、歳出が39億7247万6千円で執行率97.3%となっている。

歳入の主なものは、下水道使用料及び一般会計からの繰入金で、下水道使用料は現年度分が延べ144万8704件分、過年度分は1万1523件分となっている。

質疑に対して、「35年ごろに、既存の下水管は築造から約50年を迎え、その後は下水管更生工事の件数が増えることが予想されるので、来年度から長期計画を立てるため、下水道改築基金を積立てている」等の答弁があった。

委員から、「下水管更生工事を視野に入れて基金の積立を行っていることは思うが、既存の下水管を長持ちさせることも大変重要であると考えているので、このことを要望し、本案に賛成する」等の意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会からの中間報告

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の都市整備用地の一部と府中基地跡地留保地の財務省処分用地について、国家公務員宿舎建設計画に係る国の最終案が示された。最終案は、計画戸数を730戸から700戸程度に減少する等の内容で、これを受け、市では、国家公務員宿舎建設に対して譲歩し、今後は、このことに伴う行政需要への対応について国と協議をしていきたいとしている。また、この方針変更に伴い、調布基地跡地の都市整備用地及び病院用地、並びに府中基地跡地留保地の各利用計画の一部修正をしており、改めて国への提出を考えている。

府中基地跡地留保地における国立医薬品食品衛生研究所移転計画の状況については、現在、生態系調査に向けて準備を行っており、実施時期は秋ごろになると聞いている等の報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区の現況に関して、再開発準備組合では、事業計画について、平成21年度初頭の本組合設立に向け、都市計画の変更手続が進む中、事業計画の策定準備を進めている。また、20年秋以降の事業の進捗よくに対応できるように、従来の商業計画部会及び管理運営部会を発展させ、事業推進室を設置し、迅速な課題解決に対応できるように、推進室内に経営計画部会、権利返還計画部会、広報部会の3つの部会を立ち上げている。

けやき並木周辺整備に関しては、けやき並木通りの都道部分の移管について、都より、都道の起終点は原則都道から都道までとしているため、東八道路までを移管したいとの申し入れがあった。これに対し市は、旧甲州街道から新甲州街道までの間の移管を要請しており、引き続き協議していく等の報告があり、これを了承した。

鉄道対策特別委員会

西府土地区画整理組合の状況に関して、総会が開催され、平成19年度事業報告及び収支予算について審議され、承認・決定された。

西府土地区画整理事業の状況に関して、20年度の道路築造工事については、都市計画道路と鎌倉街道の交差点の改良工事に着手している。今後、区画道路についても、順次、整備が行われる予定となっている。駅前広場については、面積3000㎡で、西府駅北口に接する配置となっており、バスは乗降場所を2か所、タクシーは8台分のタクシープールを整備する。また、公園築造工事については、第1号街区公園は、線路北側で区域の西端、第2号街区公園は、線路南側で、西府文化センター北側に計画されている等の報告があり、これを了承した。